

# Ⅲ. プラン推進体制

## Ⅲ－１. 推進体制

本プランを推進するために、本市では、執行体制をさらに強化し、全体的に整合のとれた施策の推進を図るとともに、計画の進行状況について定期的に点検していく必要があります。

そこで、本プランにおける市及び市民の役割、推進体制を以下のとおりとします。

### 1. 岡山市と安全・安心ネットワークの役割の整理

ネットワークプランの推進にあたっての市及び市民（安全・安心ネットワーク）の役割を次のように整理し、プランの推進を図ります。

#### (1) 岡山市

- 市民の自主的な活動に対する支援  
（人的支援）  
自主的なパトロールなど地域の取り組みの定着に向けての支援  
（財政的・物的支援）  
活動に必要な物品の購入経費、ネットワーク構築の経費等の支援
- 地域住民への情報提供
- 安全・安心に関する教育・啓発（リーダーやコーディネーターなどネットワークの担い手である「人づくり」の支援）
- 庁内における関係部局間の横のつながり、市民生活に即した総合的な安全・安心の施策の検討、展開
- 警察や県と協力した地域防犯対策、公用車による地域見回り活動、市民の安全確保対策、落書き消去支援、防犯灯設置補助等

#### (2) 市民（安全・安心ネットワーク）

- 「自分たちの地域の安全・安心は自分たちで守る」という意識の高揚
- 市民一人ひとりが、“活動の担い手”であり“支えが必要となる対象”であることを意識し、地域での課題解決の活動に参加
- 団体間での情報の共有、“まちを愛する気持ち”という共通目的のもとに、地域団体間での横のつながり（ゆるやかな連携）を形成
- 公的施設やICTツール（電子町内会等）の利活用

## 2. 協働によるネットワークプラン推進体制

プランの実効性を高め、地域活動の活性化を図る手段として、次の4つの行動に取り組みます。

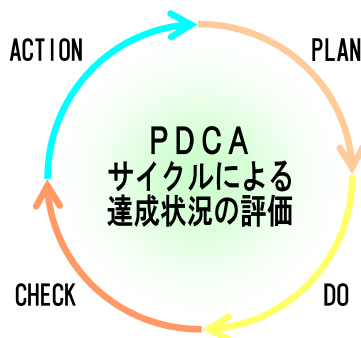
- (1) 市民協働による活動の推進
- (2) 各学区・地区におけるネットワーク活動の普及啓発
- (3) 情報の共有
- (4) 活動における人材の発掘・育成

## 3. 効果を最大化するための評価の実施

ネットワークプランによる活動の成果として、PDCAサイクルによる協働事業の成果を評価し、事業効果をネットワーク活動に還元していきます。

そのため、実行計画を策定し、計画における協働を図るための評価指標（数値目標）を設定します。またPDCAサイクルに基づき、達成状況を評価し、必要に応じて計画の内容を見直します。

図表 PDCAサイクルに基づく評価の実施



(参考) 評価指標の例

- 防 犯：パトロールの回数、犯罪認知件数 等
- 防 災：自主防災組織率、防災活動の回数、災害時要援護者の人数 等
- 環 境 美 化：落書き等の苦情件数、不法投棄の連絡件数 等
- 地 域 福 祉：援護活動の実施状況、地域での居場所づくりの活動件数 等
- 健康づくり：健康市民おかやま21の数値目標の達成状況、介護予防の実績 等
- そ の 他：電子町内会のアクセス件数、市協働事業の実績、ネットワークへの活動参加者数（延べ人数） 等